令和８年１１月５日　北海道建設新聞

日測協道支部が講習

点群モデル 基礎学ぶ

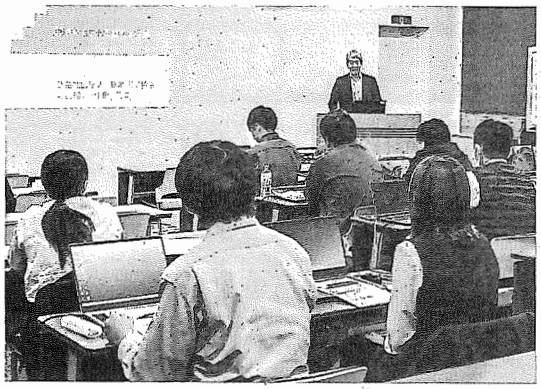
成果物の質向上へ

【釧路】日本測量協会北海道支部は10月29日、釧路建設会館でサーベイアカデミー「３D地形点群モデル解析基礎技術」を開いた。会員ら17人が参加し、高精度な点群モデルを作成する方法を学んだ。

多様化するレーザー計測技術の全体像を整理し、３D点群モデルの作成方法を定着させるのを目的とする。

住田英二専務理事は「点群データをいかにきれいにフィルタリングするかが、成果物の質を左右する大きなポイント」と指摘。航空、車載写真といったレーザー測量の方法を紹介し、データ処理する際の注意点を伝えた。

協会認定講師であるルーチェサーチ（本社・広島）の二谷卓さんが、点群処理実習やモデル作成実演を担当。ソフトウエアの基本操作から点群データの活用事例までを解説した。



今後必要とされる点群データ処理を学んだ